

日ごろより大変世話になっております。

‘飯縄高原の安全で新鮮なお野菜’をお贈りくださいます。ありがとうございます。心より御礼申し上げます。

お陰様で、子どもたちに安心して給食が提供でき、保護者の方々にも、「長野県の水輪さん」より贈っていただいていることをお伝えしていますので、保護者の方々にも安心していただいております。

去年は、寒さが厳しい中でもお野菜を贈っていただきまして、大変助かりました。本当にありがとうございました。

今年度は、公立の保育園が1所4月に再開しましたが、原町聖愛保育園では89名でスタートして、現在は91名になりました。今も（5月末現在）就学前の子どもは、震災前を100%としたときに46%にとどまっていますが、在園している家庭や当園の職員にも赤ちゃんが誕生しています。避難されたままの方々は、帰還のタイミングに迷っている話も聞きます。放射能の心配、子どもの学校、家族と離れて暮らす疲れなどなど、各ケース違うと思いますが、国でも借り上げ住宅への補助の打ち切り時期が検討されているようで、当事者の気持ちを無視した進められ方に、不信と不満の言葉を聞くこともあります。これからも残る問題は、考えの違いが生む心のずれ違い、コミュニティーの構築も含めて、ますます複雑化していくように感じます。

保育園のある地区がようやく除染になりました。除染は生活圏でも南相馬市全体では、50%に達しておらず、やっと説明会が開催されて期待をして話を聞くと、除染を実行するのは0.26 $\mu$ Sv/h以上の所と決められていて、説明会に参加していた人たちは、自分たちの順番に来るのをまだかまだかと言う思いで待っているのに、折角順番が来ても期待が裏切られたように感じて、不満を口にする人たちもいました。

保育園では年に2回、保護者会と一緒に除染をして出たものを、敷地内に一時保管していましたが、3月末に搬出してもらいました。表土を剥いだ汚染土は、まだ敷地内に埋まったままです。フレコンバッグに入れなくてそのまま埋めてあるため、搬出で掘り起こした時に土埃が舞って、再汚染する心配もあり、掘り起こしや持ち出し方などの方法をよく考えて、再汚染のないように実行していただこうと思っています。

感謝して。

2015年7月22日

〒975-0005

福島県南相馬市原町区二見町1-80-1

原町聖愛保育園

園長 遠藤美保子



苦手なお野菜を食べて、褒められるどころか、注意をされて反省するゆう君です。



↑ この後、豆もかいたあ君、食べられたいと懇ろに、きゅうりを欲しがりました。





夢中でかぶりつくゆう君のこの表情！ うん 美味しい と聞こえてきそうです。



食べているところを先生に見つかったので、隣にいたはる君に渡したけど…、はる君が食べないのを見ると、やっぱり返して！！はる君は食べたそうに見ていたのですが、場の状況を察して食べなかったようです。



皆は箱の回りに集まって、先生の話の聞いているのに、いつのまにか食べていて注意され、しょげるゆう君。この次第を知らないあっくんは、ゆう君が食べたのを知って「あっ君のは？」と先生に、きゅうりを催促して欲しがっていました。

実は、ゆう君はお野菜が苦手です。いつも給食の時に、「お野菜も食べてね」と先生から言われています。そして、何度も言われると、寝たふりをして、食べるのを拒否することもあるんですよ…上手に。

今日のきゅうりは特別美味しそうに見えたのでしょう。夢中で美味しそうに食べていました。 【1才児クラス】